[野菜部門 平成 30 年度 指導参考資料]

L野采部門 ·	P. 以 30 年度 指導参考資料」
事 項 名	転炉スラグを用いた育苗土と圃場の土壌 pH 矯正によるネギ萎凋病の被害軽減
ねらい	フザリウム属菌による土壌病害はアルカリ性土壌で発生しにくくなる性質があるため、ネギ萎凋病を対象に、土壌改良資材の一種である転炉スラグを用いて育苗土と圃場の両方の土壌 pH 矯正を行った結果、被害軽減効果の向上が確認されたので参考に供する。
指	1 転炉スラグ(商品名: てんろ石灰(粉状品))を用いて育苗土の土壌 pH を 7.5 程度に 矯正するとともに、圃場では作土 30cm の深さまで土壌 pH を 7.5 程度に矯正することで、 いずれか一方のみの土壌 pH 矯正に比べ、栽培期間をとおして萎凋病に対する被害軽減効 果が高い。
導	
参	
考	
内	
容	
期待される 効 果	育苗土と圃場の土壌 pH 矯正という耕種的な方法でネギ萎凋病の被害を軽減でき、安定生産に寄与する。
利用上の注意事項	
問い合わせ先 (電話番号)	農林総合研究所 病虫部 (0172-52-4314) 対象地域 及び経営体 作付経営体
発表文献等	平成 20、25、29 年度 試験成績概要集(農林総合研究所) 第 71 回北日本病害虫研究発表会
/ 11W 1 1	第 71 北日本病害虫研究発表会

【根拠となった主要な試験結果】

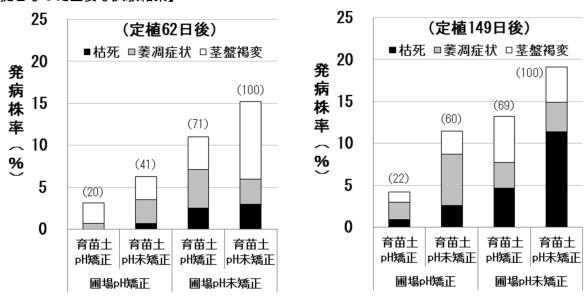


図 1 転炉スラグを用いた育苗土と圃場の土壌 pH 矯正によるネギ萎凋病の被害軽減効果

(平成29年 青森農林総研)

- (注) 1 試験場所(土壤分類): 黒石市田中(灰色低地土)、萎凋病菌接種圃場
 - 2 土壌 pH 矯正: pH6.5 程度の土壌の矯正目標 pHを 7.5 程度、圃場では 30cm 深矯正とし、てんろ石灰(粉状品)で矯正
 - 3 耕種概要:品種「元蔵」、4月3日播種(264 穴チェーンポット育苗)、5月23日定植(植溝深は約20cm)
 - 4 発病調査:各pHの圃場に各pH育苗株を6mずつ2か所に定植した中から、各調査時期に約3mずつ掘り採り全株調査 (発病株率は2か所平均を示す)

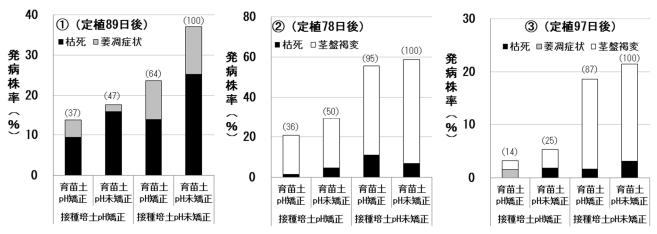


図 2 転炉スラグを用いた土壌 pH 矯正がネギ萎凋病の発病に及ぼす影響(プランター接種試験)

(平成25、29年 青森農林総研)

- (注) 1 土壌 pH 矯正: pH6.0~6.5 程度の土壌の矯正目標 pH を 7.5 程度とし、てんろ石灰(粉状品)で矯正
 - 2 品種:いずれも「元蔵」(264 穴チェーンポット育苗)
 - 3 播種・定植: 試験①では平成25年3月8日播種・4月23日定植、試験②では平成25年8月24日播種・9月16日定植、 試験③では平成29年4月3日播種・5月23日定植
 - 4 発病調査:全株調査で、試験① $(59\sim65$ 株植え)及び② $(28\sim33$ 株植え)では2プランター平均、試験③ $(57\sim65$ 株植え)では1プランターでの発病株率を示す

表 1 参考価格の一例(図1の試験で、矯正目標土壌 pHを7.5程度、圃場では30cm 深矯正とした場合)

資 材 名	単価(税込み)	使用対象	使用量・価格
てんろ石灰(粉状品)	562円/20kg	育苗土	2.4円/85g/育苗土6 L/トレイ(264穴チェーンポット)の場合、 156~180円/65~75トレイ/10a
		圃場	28, 100円/tで、126, 450円/4. 5t/10a(矯正前の土壌pHは5. 5程度)
水酸化マグネシウム(水マグ)	3,078円/20kg	圃場	初年目:15,390円/100kg/10a、2~3年に1回:40~60kg追加施用